

# 事務事業評価(事前評価)シート

<b>主管課(担当名)</b>	教育総務課(総務担当)	<b>事業区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
<b>事務事業名</b>	厚床中学校校舎等大規模改造事業	<b>事業番号</b>	12483

## 1 施策体系

<b>施策体系との関連</b>	<b>施策区分</b>	3-6	教育環境の整備
	<b>施策目標</b>	子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されたまち	

## 2 事務事業の目的

<b>目的</b>	老朽化した厚床中学校校舎等を改修し、生徒の安全・安心な学習環境を確保する。
<b>成果</b>	同校のグラウンドは排水性が悪く、まとまった降雨があった場合は2~3日程度使用不能となることから、排水改善を図り生徒の良好な学習環境を確保する。 また、校舎は屋根の痛みが著しい、機密性が低く暖房効率が悪い等生徒の学習に支障をきたしているため、それらを改修し良好な学習環境を確保する。
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
<b>事務区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概 要						
	27							
	28							排水機能を向上するため、グラウンド改修工事を行う。
	29							屋根や内外壁の改修、暖房機器の更新等を行う。
	30							
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費			80,229	150,500			230,729
	内 訳	国庫支出金		23,158	50,000			73,158
		道支出金						
		地方債		45,800	92,500			138,300
		その他						
		一般財源		11,271	8,000			19,271
	人員(人工)			0.022	0.022			
職員費(人員×8,081千円)			178	178			356	
総事業費			80,407	150,678			231,085	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	厚床中学校グラウンド整備面積	12,350㎡	12,350㎡	12,350㎡
	厚床中学校校舎改修面積	1,238㎡	1,238㎡	1,238㎡

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	グラウンドを改修し排水性を向上することで、雨天後の体育授業への影響を抑えることができる。また、授業以外にも部活動や地域行事などグラウンド活動日数を確保することで、生徒の健全な運動環境の確保による体力の向上、地域との交流による社会性の向上が図られる。 老朽化した校舎施設を改修することで、生徒の安全・安心な学習環境を確保することができる。
-------------------	---

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない グラウンドは排水性が悪く体育の授業や少年団活動に支障がでているため、PTAや地域から熱望されている。 また、校舎も老朽化が著しく、冬季寒冷対策やトイレの水洗化も含め大規模改修を要望されている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 施設管理者としての責務であるため、市が実施主体となる。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 授業計画の変更を余儀なくされるため、緊急性はある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 施設管理者としての責務であるため、適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 中学校に通う全生徒を対象としている。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 一日の大半を過ごす学校施設を保全・改修することは、子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されるため、有効性は高い。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 総合計画事業として計画どおり実施されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input checked="" type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 事業の実施には多額の費用が必要となり財源確保が必須となるが、近年、国の予算の削減と併せ全国的に学校施設の耐震化、統廃合等により国庫補助金の需要が多く、採択順位の低い事業は採択が見送られる状況にある。平成28年度事業として国庫補助申請を行ったが、採択を見送られたため、実施時期・実施方法等の再検討が必要。

作成年度 平成28年度